

教 育 行 政

第1節 昭和44年度福島県教育委員会努力目標

福島県教育委員会は「未来をひらく豊かな教育」をめざして、次の努力目標を設定し、市町村教育委員会ならびに関係機関・団体と緊密な連絡のもとに、教育の正常化を促進し、県民の期待にこたえる教育を積極的に推進する。

目 標	重 点 事 項
1 児童・生徒の能力開発と徳性のかん養	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の個性・能力に応じた適正な教育を行ない、調和と統一のある教育活動の推進により、学力の向上につとめる。 学習指導要領の改正の趣旨を徹底する。 教育課程の正常な編成をし、その完全実施につとめる。 教育内容の精選・集約につとめ、指導法を改善する。 科学技術教育・産業教育を充実する。 道徳教育の全体計画を整備し、実践指導を強化する。 生徒指導についての共通理解とその徹底をはかる。 能力・適性に応じた進路指導を強化する。
2 体育・スポーツの振興と健康・体力の増進	<ul style="list-style-type: none"> 体育・スポーツの振興と保健教育の充実をはかり、県民の健康と体力の維持増進につとめる。 学校体育を充実する。 社会体育の振興をはかるとともに県民のスポーツ水準を高める。 体育施設設備を整備充実し、効率的に運営管理する。 児童・生徒の保健教育を強化するとともに学校環境衛生の維持改善をはかる。 学校給食を普及し内容を整備充実する。 交通安全指導を徹底する。
3 社会教育の振興と文化の向上	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化に対応して社会教育を総合的に推進するとともに、芸術文化の振興と郷土の伝統的な文化財の保護につとめる。 少年教育・勤労青年教育を推進する。

目 標	重 点 事 項
	<ul style="list-style-type: none"> P T A 活動の促進と家庭教育を振興する。 社会教育指導者の養成につとめ、指導組織を強化する。 社会教育の施設設備を整備充実する。 芸術文化活動を推進する。 文化財の積極的な保護につとめ、その活用を推進する。 図書館資料を充実し、読書普及運動を推進する。
4 教職員の資質と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 教育公務員としての自覚を深め、研修を強化して指導力の向上につとめる。 教職員の専門性を高めるための研修を促進する。 指導機関・研究機関・研究団体との連携により教育研究を推進する。 自主的研究団体の育成強化をはかる。
5 教育諸条件の整備と学校管理運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境を整備改善して、その充実をはかるとともに、学校管理の適正な運営により教育効果の向上につとめる。 施設設備を改善充実する。 へき地教育を改善充実する。 特殊教育ならびに幼児教育を拡充整備する。 後期中等教育の拡充整備を促進する。 教職員の福利厚生事業の拡充と勤務条件の改善をはかる。 教職員組織を充実強化する。 教職員の服務に関する指導を徹底する。 学校事故防止の徹底をはかる。

第2節 教育委員会

1 教育委員会

玄葉与光委員長の任期満了により、昭和44年10月14日の臨時会において改選の結果、新委員長には太田緑子委員が選任され、委員長職務代理者には、佐藤広治委員が選任された。現委員は次のとおりである。

職 名	氏 名	職 業	住 所	就任年月日	初任年月日
委 員 長	太 田 緑 子		郡山市池の台9-3	41 10 10	31 10 1
委 員 員 (委員長職務代理者)	佐 藤 広 治		福島市泉字仲田4-10	42 10 11	42 10 11
委 員 員	玄 葉 与 光	酒 造 業	田村郡船引町大字船引字北町通41	44 12. 24	40 12 24
委 員 員	佐 藤 正 人		南会津郡下郷町大字中妻字家の上乙30	43 10 11	41 10 8
委 員 員	山 崎 忠 兵 衛	醸 造 業	いわき市平字鍛冶町3	43 10 11	43 10 11

2 審 議 事 項

4月定例会(44.4.8 教育委員会室)

- 報告
- 1 市町村教育委員会教育長の任命承認について
 - 2 福島県後期中等教育審議会の答申について
 - 3 昭和44年度福島県公立高等学校入学選抜再募集状況について

4 昭和43年度末県立学校教職員第2次人事異動について

- 議案
- 5 文化センター設備関係業者の入札結果について
 - 第1号 昭和44年度教科用図書選定審議会委員の任命について

5月定例会(44.5.8 教育委員会室)